

日本ゼオン、カーボンナノチューブのサンプル製造を開始

2012年11月6日


日本ゼオン株式会社（本社：東京都千代田区、社長：古河 直純）は、スーパーグロース法で得られる高品位なカーボンナノチューブのサンプル提供を実施すべく、独立行政法人産業技術総合研究所（以下、産総研）の量産実証プラントを活用し、カーボンナノチューブのサンプル製造を開始した。

近年、デバイスの高機能化の要求により、その中核となる材料、部材についても高性能化が求められるようになってきている。中でも、電気、熱伝導性、機械強度に優れるカーボンナノチューブは、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）プロジェクトを通じて、高性能キャパシタ、高機能ゴム材料、高熱導電材料等の革新的材料、デバイスの可能性が示唆されつつあり※）、産業への応用が期待されている材料である。日本ゼオンは、NEDO「カーボンナノチューブキャパシタ開発プロジェクト」を通じ、2004年に産総研島博士らにより見出された革新的な単層カーボンナノチューブの合成法である「スーパーグロース法」を基盤としたカーボンナノチューブの量産技術開発を進め、2011年には量産実証プラントの建設（2009年経済産業省補正予算事業）・運転・サンプル提供による技術普及を産総研と共同で進めてきた。

今回、日本ゼオンは、産総研の量産実証プラントを活用し、スーパーグロース法で得られる高品位なカーボンナノチューブのサンプル製造を実施、2013年1月を目処に、このカーボンナノチューブサンプル提供を計画している。

スーパーグロース法で得られるカーボンナノチューブは、他のカーボンナノチューブと比較して、高いアスペクト比、高純度、高比表面積といった特長を有するため、従来にない機能や特徴を持つ新機能性材料、次世代デバイス等への応用が期待される材料であり、今後需要が急拡大すると予想される。今後も市場のニーズに対応し、産業化を見据えたサンプル提供を実施する予定である。

※）「カーボンナノチューブキャパシタ開発プロジェクト」（平成18年度～平成22年度）、「低炭素社会を実現する革新的カーボンナノチューブ複合材料開発プロジェクト」（平成22年度～）

 本件に関するお問い合わせ

日本ゼオン株式会社 **CSR**統括部門 広報室
Tel : 03-3216-2747

[▶ お問い合わせフォーム](#)